

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：精神保健費

事業名 措置入院患者退院調整会議費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 精神保健福祉係 電話番号：058-272-1111(内 2545)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 786 千円 (前年度予算額：1,606 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,606	0	0	0	0	0	0	0	1,606
要求額	786	0	0	0	0	0	0	0	786
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

精神保健福祉法により、入院中から地域移行を想定した支援を実施しているところであるが、平成30年3月に「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」で示された国の指針に従い、措置入院者が退院後に継続的な医療等の支援を確実に受けられるよう、精神障害者の支援体制に関して関係行政機関等と協議するとともに、個別ケース検討会議を開催し、退院後支援計画の作成や実施に係る連絡調整を行う必要がある。

(2) 事業内容

精神障害者地域支援調整会議

措置入院患者について、退院後の支援計画の作成や、実施に係る連絡調整を行うため、個別ケース検討会議を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 (交付税措置)

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額(千円)	事業内容の詳細
報償費	288	報償費
旅費	169	業務旅費、費用弁償
消耗品	140	事務用品
燃料費	35	公用車ガソリン
役務費	154	通信運搬費
合計	786	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県障がい者総合支援プラン

(2) 法律での位置づけ

精神保健福祉法

(3) 後年度の財政負担

地方交付税措置を継続

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
措置入院患者が退院後に精神障がい者が住み慣れた地域で生活を送ることができるよう、地域生活への移行に向けた支援並びに地域生活が継続するよう支援を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値	目標	達成率
措置入院患者の退院支援計画策定割合	0件 (H29)	2件/2件 (H30)	10件/10件 (R1)	同意者 全件 (R3)	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
各保健所において、措置入院時から病院と連携し、措置入院者の退院後支援を検討し、同意があった10名について退院後支援計画を策定した。
各保健所において、延べ11回の調整会議を行い、措置入院者及び関係支援機関に個別支援計画を交付するとともに、退院後支援計画に基づいた支援を実施した。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
各保健所がリーダーシップを取り、措置入院時から病院や関係支援者と連携するとともに、連携や支援の方法を退院後支援計画として明確にすることで、対象者が転出転入したとしても、継続したきめ細やかな支援を行うことができ、措置入院者の退院後生活支援をより充実させることに寄与した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	措置入院患者が、退院後も治療を継続し、病状が安定した状態で地域で安心して生活するために、関係機関が協力して支援する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	保健所がリーダーシップを取り、医療機関等と連携を図った結果、計画策定対象者が増えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	措置入院業務を担う保健所がリーダーシップを取り、措置入院患者の退院後支援を進めていくことで、効率的に支援が実施できている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 措置入院患者に対しきめ細やかな支援を行うために、人材の確保が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 退院後支援の計画作成に同意を得られた者を対象とするため、医療機関と協力し、同意が得られるようにする。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	